



ほん びより
「本」日和

私たちの郷土“宮崎”に縁がある図書館資料をご紹介します。

特集 Special feature

隣のお兄ちゃんが
な、なんと「俳優さん」に
なった！？



宮崎市出身俳優

さかい まさと

堺 雅人さん

『文・堺雅人』

堺雅人／著 産経新聞出版

2009

2階郷土コーナー 775.1/サ

堺雅人さんの「転機」とは？

早稲田大学を中退した2002年の夏の出会。ある著作の中で、悩んだり、すねたりする牧水を見つけた。牧水が早稲田で過ごした青春時代を読み進めるうちに、自分の「青春」がそれに重なり…。

『ぼく、牧水！』

伊藤一彦／著 堺雅人／著

角川書店 2010

2階郷土コーナー 911.1/ワ

『文・堺雅人②』 も、ご一読ください！

俳優「堺 雅人さん」の
原点とは？！

始まりは「1989年」宮崎の県立高校に入学し、演劇部を見学したことから。部室は、いずれ取り壊される予定の「被服室」…。

温かな筆致に、ぐんぐん引き込まれていきます。

『あくがれゆく牧水』

伊藤一彦／著 鉦脈社

2001

2階郷土コーナー 911.1/ワ



「伊藤先生!!」

世の中に「センセイ」と呼ばれる人たちは大勢いる。その中で、堺雅人さんが「センセイ」と慕うのが、伊藤一彦先生。高校時代の出会いから今日までのどんな話を聞かせるのか、二人の対談が1冊に！



メディアで活躍する 宮崎人！

『コブクロ』

本郷陽二/著 汐文社

2008

2階郷土コーナー 767.8/コ



大阪・関西万博オフィシャルテーマソング「この地球（ほし）の続きを」で、美しい歌声を響かせたコブクロ。1998年5月、大阪での偶然の出会いを果たした黒田俊介さんと小淵健太さん。「蕾」「桜」「ここにしか咲かない花」と次々にヒットを飛ばし、人気を確たるものとした。彼らの生い立ちや結成当時の様子を描いた著作。

映画「もののけ姫」の劇中歌で、広く知られる米良さん。先天性の難病と闘いながら多くの困難に耐えてきた日々。そんな中で彼を支えていたのは「音楽！」だった。松田聖子さんの歌を傾聴していた少年が、一発奮起、音大を目指す。宮崎県の音楽コンクールでの銀賞受賞が励みとなり…。

『天使の声生きながら生まれ変わる』

米良美一/著 大和書房

2007

2階郷土コーナー 767.3/メ

第6回 宮崎本大賞

『じい散歩』藤野千夜/著 双葉社

夫、明石新平 89 歳。妻、英子 88 歳。中年となった 3 人の息子たちは、みな自立しているはず…が、長男は高校中退、その後引きこもり。次男はしっかり者の自称・長女。末っ子は事業に失敗し借金まみれで同居。妻には認知症の兆し有り。悲惨な状況のはずなのに、深刻にならずにいられるのは、なぜでしょう？

？みやざき「本」日和 クイズ？

『文・堺雅人』産経新聞出版 2009 (775.1/サ) より

Q. NHK大河ドラマ「篤姫」で、堺雅人さんが演じた役は??



答えは次号！

※ Vol.4の答えは、『大淀川河畔』でした。

宮崎市立図書館 0985-52-7100